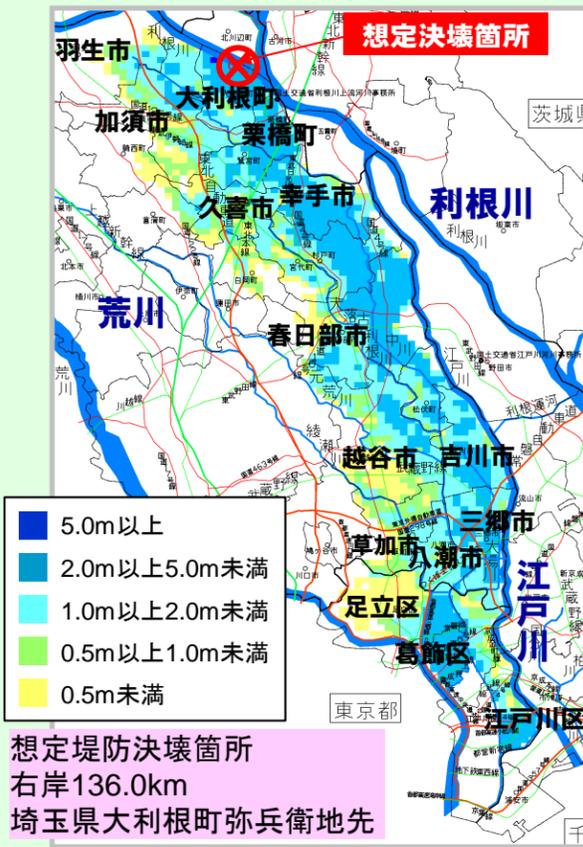


# 首都圏における大規模水害の被害想定結果の概要

## 利根川首都圏広域氾濫の被害想定

### ①浸水範囲 (最大浸水深図)



### ②浸水面積

約530km<sup>2</sup>

### ③浸水区域内人口

約230万人

### ④死者数

約2,600人

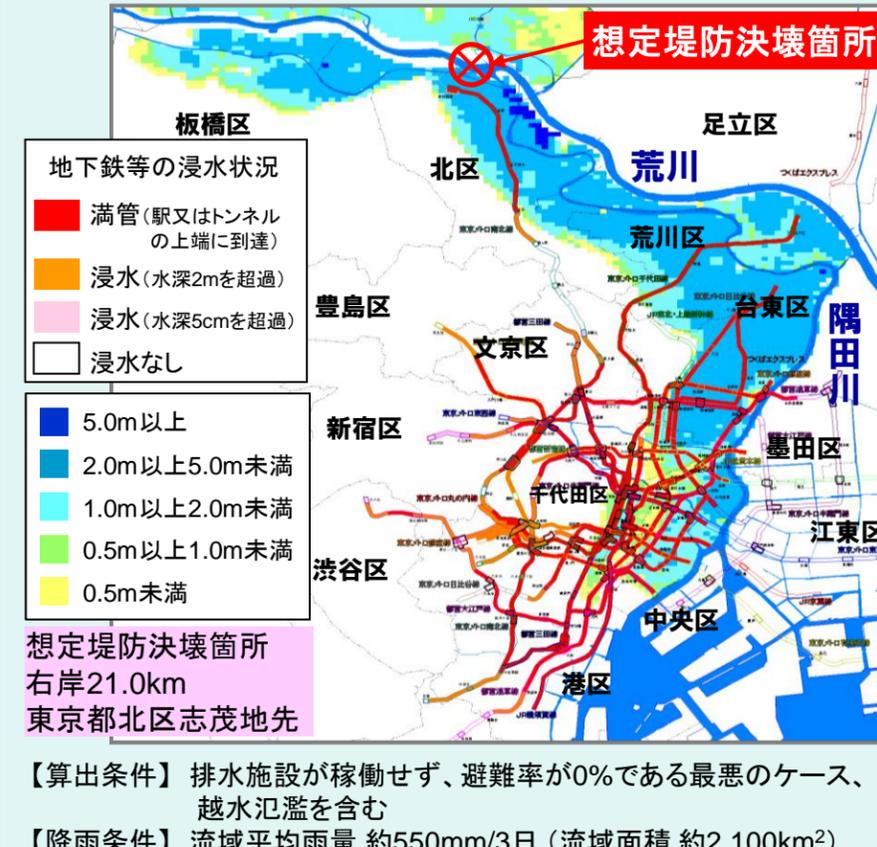
### ⑤孤立者数

最大約110万人 (決壊2日後)

【算出条件】 排水施設が稼働せず、避難率が0%である最悪のケース  
 【降雨条件】 流域平均雨量 約320mm/3日 (流域面積 約5,100km<sup>2</sup>)

## 荒川右岸低地氾濫の被害想定

### ①浸水範囲 (最大浸水深図)



### ②浸水面積

約110km<sup>2</sup>

### ③浸水区域内人口

約120万人

### ④死者数

約2,000人

### ⑤孤立者数

最大約86万人 (決壊1日後)

### ⑥地下鉄等の浸水被害

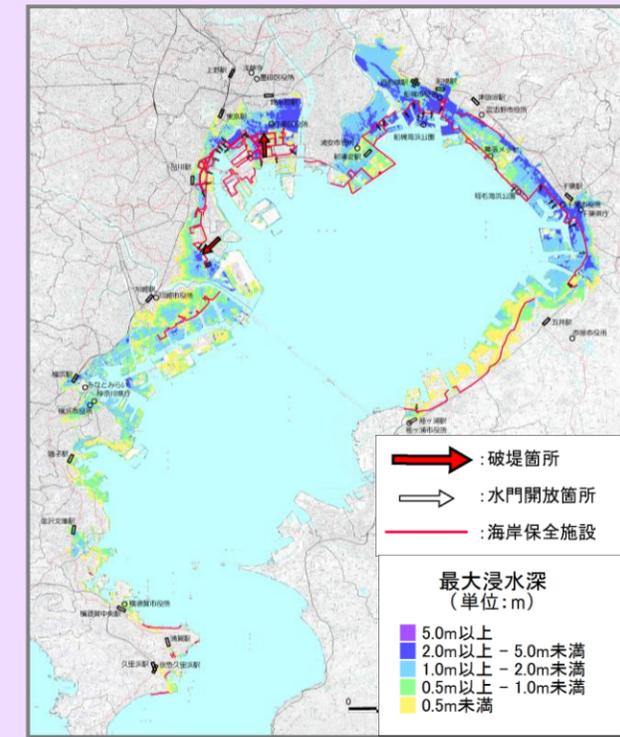
17路線、97駅、約147km

(対策が現況程度の場合)

【算出条件】 排水施設が稼働せず、避難率が0%である最悪のケース、越水氾濫を含む  
 【降雨条件】 流域平均雨量 約550mm/3日 (流域面積 約2,100km<sup>2</sup>)

## 東京湾高潮氾濫の被害想定

### ①浸水範囲 (最大浸水深図)



### ②浸水面積

約280km<sup>2</sup>

### ③浸水区域内人口

約140万人

### ④死者数

約7,600人

### ⑤孤立者数

最大約80万人 (高潮ピークから3時間後)

【算出条件】 排水施設が稼働せず、避難率が0%である最悪のケース  
 【シナリオ条件】 想定台風の規模: 室戸台風級(911hPa)、潮位の初期条件: 朔望平均満潮位+地球温暖化による海面水位の上昇量(0.6m)、海岸保全施設の条件: 漂流物等により海岸保全施設が損傷、全水門開放

【留意点】 河川からの高潮浸水は考慮していない

## ライフラインの被害想定

	利根川首都圏広域氾濫	荒川右岸低地氾濫
電力	約59万軒	約121万軒
ガス	約26.6万件	約31.1万件
上水道 (給水制限)	約14万人	約164万人
下水道	(汚水処理)	約180万人
	(雨水排水)	約70万人超
通信	(固定電話)	約61万加入
	(携帯電話)	約40万在圏
		約175万人
		約120万人
		約52万加入
		約93万在圏

(留意点) ・どの場合も供給側施設の浸水による支障に関する想定結果  
 ・停電による供給側施設の途絶や個別住宅等の浸水による支障は含まないため、支障件数はさらに増加すると想定(※上水道及び携帯電話の支障件数は、停電による供給施設の途絶を考慮)